

「徳島市非核平和都市宣言」をすすめる徳島市民の会
戦後80年・徳島市非核平和都市宣言40周年記念事業

なつやすみ ひかくへいわ えいがまつり

夏休み非核平和映画祭

豪華3本立て

とき：2025年8月3日（日）
ところ：ホテル千秋閣7階鳳の間



1. アニメ映画「はだしのゲン」 午前10時～（受付午前9時30分～）
2. アニメ映画「はだしのゲン2」 午後1時～（受付午後0時40分～）
3. 映画「ひろしま」 午後3時～（受付午後2時50分～）

- 入場無料です。整理券なども必要ありません。
- 満席（約100席）の場合、ご入場をお断りすることがあります。
- 本作品には非常に残酷なシーンが含まれています。ご鑑賞にあたっては、あらかじめご了承くださいませようお願いします。

主催：「徳島市非核平和都市宣言」をすすめる徳島市民の会 後援：とくしまピースネット80

お問い合わせ先 TEL088-655-3222（徳島地区労）

上映作品紹介

◆はだしのゲン



劇場作品

1983年7月21日公開（1983年製作）

【メインスタッフ】

製作・脚本・原作／中沢啓治▼監督／真崎守▼キャラクター設計・作画監督／富沢和雄▼美術監督／男鹿和雄▼撮影監督／石川欽一▼音響監督／明田川進▼音楽／羽田健太郎▼製作／ゲンプロダクション

原爆焦土と化したヒロシマで、たくましく生きぬく少年・ゲン！

太平洋戦争末期の昭和20年8月6日、広島市に一発の原子爆弾が投下された。目の前で父親と姉弟を失い打ちひしがれたゲンだったが、焦土と化した広島で、母と共に強く生きていく決意をする。その時、ゲンの母・君江の体には新たな命が宿っていた。

◆はだしのゲン2



劇場作品

1986年6月14日公開（1986年製作）

【メインスタッフ】

原作／中沢啓治「はだしのゲン」（汐文社刊）▼監督／平田敏夫▼脚本／高屋敷英夫▼キャラクター・作画監督／さかいあきお▼美術監督／番野雅好▼撮影監督／石川欽一▼音響監督／明田川進▼音楽／羽田健太郎▼製作／ゲンプロダクション

麦のように、たくましくまっすぐ生きる少年・ゲンの姿を描いた感動作、第二弾！

終戦から3年が経った広島市。そこには、母と弟代わりの隆太と共に、必死に生きるゲンの姿があった。だが、放射能を大量に浴びた母・君江の体は原爆症に蝕まれていく。原爆孤児のエンコウの政や勝子らと知り合ったゲンは意気投合、母の療養のためにお金を稼ごうと苦心するのだが……。

【関連情報】

マッドハウス http://www.madhouse.co.jp/works/1986-1983/works_movie_hadashi2.html

◆ひろしま



1953年公開(1953年製作)

原作／長田新篇「原爆の子～広島の子供少女のうたえ」▼監督／関川秀雄▼脚色／八木保太郎▼製作／日教組プロ

広島市のある高校の1クラスで白血病により女子生徒みち子が倒れる。戦後広島にやってきた担任の北川は、生徒たちと原爆症について話し合う。原爆が投下された1945年（昭和20年）8月6日、女教師・米原が生徒たちと被爆し、焦土と化した広島をさまよい、力尽きるまでが回想される。北川は今まで原爆のことを知ろうとしなかったことを謝罪すると、生徒からは原爆のことを世界の人に知ってほしいとの声があがる。病床のみち子は『軍艦マーチ』が鳴り響く原爆投下前の広島を想起する。（ウィキペディアから引用）

主催 「徳島市非核平和都市宣言」をすすめる徳島市民の会（事務局：徳島地区労）

後援 とくしまピースネット80

